

2023年4月13日

TABWD[®]の技術をベースにした新素材が 隈研吾氏デザインの食器に採用

トヨタ車体株式会社（本社：愛知県刈谷市、代表取締役・社長：松尾 勝博）が開発した「TABWD[®]」*¹の技術をベースにした新素材が、株式会社 hide kasuga 1896（本社：東京都港区、代表取締役：春日 秀之）*²の運営する環境調和型ブランド「hide k 1896（ヒデケー1896）」の隈研吾氏*³デザインの食器に採用されました。

この新素材「TRANSWOOD（トランスウッド）」は、間伐材と株式会社プライムポリマー（本社：東京都中央区、代表取締役社長：藤本 健介）が製造販売するマスバランス方式の「Prasus[®]」*⁴を配合し、トヨタ車体「TABWD[®]」の技術をベースに適用開発され、形を変えて循環する新たな木材であり、間伐材の有効利用と、バイオマス PP の使用により CO₂ の削減に貢献します。

「hide k 1896」の本食器は、4月26日より三越伊勢丹オンラインストアにて販売されます。

https://www.mistore.jp/shopping/brand/living_art_b/006606.html

また日本橋三越本店にて5月10日～5月16日の間、本館5階 洋食器にて販売されます。



TABWD[®]の技術を活用した食器

*1 TABWD[®]

トヨタ車体が開発したスギ間伐材で補強した射出材料。部品要求特性に合わせて性能調整が可能。これまで、自動車部品（フォグランプラケット、ワイヤーハーネスプロテクター、バッテリートレイ）にも採用。植物材料はカーボンニュートラル素材であることから、二酸化炭素排出量が削減でき、部品の軽量化に貢献できるだけでなく、リサイクルが可能でサーキュラーエコノミーの実現に貢献する素材。

* 2 株式会社 hide kasuga 1896

工学博士の春日秀之氏が代表を務めるマテリアルシンクタンク。ブランド開発からマーケティングまで幅広いコンサルティングサービスを提供。自社事業としては2つのサーキュレーションブランド〔BLANC BIJOU PARIS (PTFE)〕〔hide k 1896 (コンポジットテキスタイル / トランスウッド) 旗艦店：表参道〕を運営。信州大学国際科学イノベーションセンター内に開設した研究所〈hide kasuga LABO〉では、素材の適用開発から技術開発、リサイクルスキームの構築、サーキュラーエコミーコンソーシアム事務局の運営を行っている。

<http://www.hidek1896.com>

* 3 隈研吾



本食器は世界を代表する建築家〔隈研吾氏〕によるデザイン。「hide k 1896」のブランドヴィジョン“未来の循環社会に向かって”に共感し、“循環する木”の魅力をシンプルなフォルムで表現。

1954年生。1990年、隈研吾建築都市設計事務所設立。慶應義塾大学教授、東京大学教授を経て、現在東京大学特別教授・名誉教授。30を超える国々でプロジェクトが進行中。自然と技術と人間の新しい関係を切り開く建築を提案。主な著書に『全仕事』（大和書房）、『点・線・面』（岩波書店）、『負ける建築』（岩波書店）、『自然な建築』、『小さな建築』（岩波新書）、他多数。

* 4 Pralus®

株式会社プライムポリマーが展開する、新しいフィードストックを使用したマスバランス方式による環境にやさしい持続可能な製品（ポリエチレン、ポリプロピレン）のブランド名

<http://www.primepolymer.co.jp/>

世界の暮らしに 笑顔届けたい

